パラアーチェリー　クラス分け

１．概要

パラスポーツには参加基準を規定するクラス分け＝クラシフィケーションがあります。様々な障がいの種類・程度の選手が競い合うため、それらが競技結果に影響しないように、できるだけ同程度のグループ分けをすることを言います。

パラアーチェリーにおいても他の競技と同様、このクラス分けを行うことで個々の障がいが競技に及ぼす影響をできるだけ小さくし、公平・公正に競い合うために必要な制度として日本国内のみならず世界的に導入されています。

クラス分け受検にあたってのその内容を同意された書類の提出、同時に担当医師より得た医学情報を提出していただきます。それらの情報を参考にクラス分け委員が問診、上下肢・体幹の運動機能を中心とした身体診察を行い、障がいの程度について客観的に評価します。障がいの程度に応じてグループ分けを行い、弓具検査では選手が使用する補助具（車いす、スツール、ストラップなど）がパラアーチェリー競技規則に準じていることを確認します。競技中においても実際の行射をクラス分け委員が確認し、身体診察で確認した障がいの程度や補助具の使用が適切であるかどうか評価を行います。

この一連の過程をクラス分けと定義し、修了者にはクラス分けカードが発行されます。選手がクラス分けを受ける際は競技同様にフェアプレイで取り組み、評価される必要があります。

国際パラリンピック委員会(以下、IPC)、世界アーチェリー連盟(以下、WA)、一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟（以下、JPAF）などの主催大会であるパラリンピック、パラアーチェリー世界選手権、JPAF杯などへの出場にはこのクラス分けカードを提出する必要があります。公益社団法人全日本アーチェリー連盟公認大会においても、用具検査時にクラス分けカードの提示が求められるようになっております。

２．実施手順①

A.国内クラス分けの場合（JPAF杯、フェニックス杯などで実施）

日身ア連に登録

クラス分け申込

（クラス分け当日1ヶ月前まで）

様式※1提出

ｸﾗｽ分け対象

クラス分け受検

・ﾌｨｼﾞｶﾙﾁｪｯｸ

・行射観察

判定

適合

国内クラス分けカード発行

不適合

ｸﾗｽ分け対象外

B.国際クラス分けの場合（パラ国際大会のみで実施）

強化指定選手認定

クラス分け申込

（クラス分け当日1ヶ月前まで）

MIF※2提出

ｸﾗｽ分け対象

クラス分け受検

・ﾌｨｼﾞｶﾙﾁｪｯｸ

・行射観察

判定

適合

国際クラス分けカード発行

不適合

ｸﾗｽ分け対象外

※1様式･･･同意書＆申請書、メディカルチェックシート

※2MIF（ﾒﾃﾞｨｶﾙｲﾝﾃｰｸﾌｫｰﾑ）･･･自身の障害状況の説明や、補助用具使用の必要性を説明する書類。医師に英語で記載してもらう必要があります。

３．実施手順②弓具験査

ｸﾗｽ分けｶｰﾄﾞを審判に提示

補助用具の確認

・使用の許可

・適正な用具

許可かつ適正

無許可

**修正**

不適正

使用可＝

弓具検査完了

使用不可＝

弓具検査未完了

４．Q&A

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | クラス分けとは？ | 1. アーチェリーに限らず障がい者スポーツは、様々な障がいの種類・程度の選手が競い合うため、競技結果に障がいが影響を与えないよう、同程度のグループに分けることです。   ② パラアーチェリーの大会（JPAF杯、パラリンピック、アジアパラ大会など）への出場資格の有無を確認することです。   1. 障がいの状況を確認し、補助用具（車いす、スツール、ストラップなど）の使用の可否について客観的に判断することです。 |
| 2 | 身体障害者手帳を所持していれば、パラアーチェリー大会に出場可能ですか？ | 身体障害者手帳の所持＝パラアーチェリー大会出場可ではありません。 |
| 3 | IPC（パラリンピック）のクラス分けと全国障害者スポーツ大会の区分判定は同じですか？ | 障がいの種類・程度により、全国障害者スポーツ大会のアーチェリー及びフェニックス杯に出場できても、パラリンピック等の大会には出場できない場合もあります。  パラリンピックには肢体不自由者で、かつ出場資格が認められている障がい程度を有する必要があります。 |
| 4 | 公認の（国内・国際）パラアーチェリー大会に出場できる障がいの種類はなんですか? | WAは、「出場資格のある障がいのためのIPCクラス分け規則」に 基づき、以下の身体的または視覚的障がいの種類をパラアーチェリーの出場資格として認定しています。 • 筋力障がい  • 受動的関節可動域障がい  • 四肢欠損  • 筋緊張亢進  • 運動失調  • 視覚障がい  ※視覚障がいは専門のクラス分けが必要となります。 |
| 5 | 全日本アーチェリー連盟公認記録大会にはクラス分けカードは必要ですか？ | 必要です。大会時には持参ください。 |
| 6 | クラス分けカードに記載のある補助具と異なる補助具を使用したらどうなりますか？ | 競技違反、失格となります。  例えば、ST＝立位（スツール使用も含む）の選手が車いすを使用した場合、失格となります。 補装具や補助用具の使用や変更を希望する場合は、クラス分けを受けてください。  補助用具は、障がいの種類・程度に合致するものに限り使用することができます。 |
| 7 | クラス分けカードには有効期間はありますか？ | 国際のカードは２０１３年以降の発行分から有効です。 国内のカードは２０１７年以降の発行分から有効です。 |
| 8 | どうしたらクラス分けを受けられますか？ | JPAFのWebサイトで実施予定を通知いたします。申し込み期限までに必要事項を記入し、お申込みください。JPAF杯、フェニックス大会を含む年３～４回のクラス分けを予定しております。 |
| 9 | クラス分けの対象者は？ | 当連盟会員で４に該当する方が対象となります。ただし、障がいの種類・程度によっては対象外となる事があります。 |
| 10 | クラス分けのグループは？ | 4グループあります。  ･Ｗ1･･･上肢・下肢のうち少なくとも三肢と体幹に機能障害がみられる車いす使用グループ(最も障がいの重いグループ)  ･Ｗ2･･･対麻痺または同程度の障がいがあり、車いすを使用するグループ  ･ST･･･最小障がい基準を満たしている立位のグループ  ･NE･･･出場要件を満たす診断・症状がない、あるいは  最小障がい基準を満たしておらず、身体障害者  手帳を所持しいていても、公認の国際・国内  身障アーチェリー大会出場が不可能なグループ |
| 11 | C、Rの競技ｽﾃｲﾀｽとはなんですか？ | クラス分けの評価で割り当てられたクラスの状態を示すものです。  ･Cｽﾃｲﾀｽ(Confirmed)･･･恒久的または不変的とみなされる障がいの場合です。  ･Rｽﾃｲﾀｽ(Review)･･･医学的な症状の進行、症状変化の可能性のある場合です。再度クラス分けを受ける必要があります。 |
| 12 | クラス分けは一度だけ受ければいいですか？ | 障がいの状態に変化があり、自らのクラスが正しくないと思われる場合、補助用具を追加、変更する場合、RｽﾃｲﾀｽやCNC※に指定された場合などは再受検する必要があります。  その他WAのクラス分けルールが変更になった場合に再受検が必要なこともあります。  ※CNC(Classification Not Completed)･･･クラス分け未完了。痛み等により検査が実施できないと判定すること。 |
| 13 | クラス分けを受検できない障がいはありますか？ | ・主に痛みを引き起こすもの（例：筋筋膜性疼痛症候群、線維筋痛症、複合性局所疼痛症候群）  ・主に疲労を引き起こすもの（例：慢性疲労症候群）  ・主に過剰運動または筋緊張低下を引き起こすもの（例：エーラス・ダンロス症候群）  ・主に精神的または心因性が原因のもの（転換性障害、心的外傷後ストレス障害） |
| 14 | パラアーチェリー大会に出場するための最小障がい | ・上肢または下肢に25ポイント以上の（筋力や関節可動域などの）減点  ・手首から上の前腕切断（手首の関節が欠損）  ・脚の下部1/3の切断（足首の関節が欠損）  ・恒久的な完全脊髄損傷 |
| 15 | 連盟の会員証（裏側）に「暫定」と表記されています。これはどういう意味ですか？ | 有効な国内外のクラス分けカードをお持ちでない方が対象となります。暫定のクラスと、必要と思われる補装具などが記載されております。 |
| 16 | 補助用具を使わない、聴覚障がい者、内部障がい者もカードが必要ですか？ | 補助用具が必要なければ不要です。 |
| 17 | 競技クラスには何がありますか? | • W1 オープン: 男性、 女性  • コンパウンドオープン: 男性、女性  • リカーブオープン: 男子、女子 |
| 18 | W1オープンとはどういう意味ですか？ | W1クラスの選手は、リカーブボウ、コンパウンドボウのいずれの弓を使用しても同一クラスで競技を行う為、オープンとなっております。 |
| 19 | リカーブオープンや、コンパウンドオープンのオープンとはどういう意味ですか？ | W2とSTのクラスが同じ種類の弓を使用し同一クラスで競技を行う為、オープンとなっております。 |
| 20 | クラス分けでW1と判定された選手が、W1オープンではなく、リカーブ（コンパウンド）オープンに出場できますか？ | 当該選手の障がいよりも程度の軽いクラスに出場することは可能です。例えばW1の選手がリカーブオープンに出場することは可能です。逆の場合は不可能です。 |
| 21 | 国際クラス分けを取得するにはどうしたらよいですか？ | 国際クラス分けは、WA主催のパラアーチェリー大会で、かつそれを実施すると発表があった大会のみで実施されます。つまり、国際クラス分けを取得するためにはJPAFの強化指定選手に認定され、クラス分けを実施するWA主催のパラアーチェリー大会に出場する必要があります。 |
| 21 | 許可された補助用具は必ず使用しないといけませんか？ | 必ず使用する必要はありません。 |
| 22 | 判定について異議申し立ては可能ですか？ | クラス分け実施後、抗議に関する申請書を提出いただき、後日のクラス分け時に再度受験いただくことになります。その場合、主担当医師の診断書の提出を求めることがあります。 |